

子どもの居場所調査しました

さまざまな地域で、小学校の部活動が学校から地域に移行されています。放課後の子どもの居場所や習い事はどんなところがあるのか？調査しました。

☆放課後の居場所

子どもが習いたい事、興味のあることは学ばせてあげたいという保護者の気持ちはあっても、送迎を考えると、お休みの日だけとなってしまいそうです。そうになると、土日に習い事を入れる人が集中してしまったり、子どものお休みの日に親子で過ごす時間が減ってしまったりとさまざまな弊害も考えられます。

習い事の送迎問題だけではなく、小学生を一人または子どもだけで家に置いておくのも心配です。などなどを考えると、平日の放課後に子どもがいられる場所があったり、習い事の送迎があったりすると、保護者も子ども安心して楽しく過ごすことができそうです。

☆居場所調査は…

こどもの居場所や習い事を車で送迎することを念頭に、それらのハブとなる施設（つながりステーション：民間の託児施設です）を中心とした6小学校区を調査の対象としました。

まずは、習い事、塾、居場所的な場所などを中心に、インターネット、SNSで調査します。その後、つながりステーションを中心とした半径2km内を歩いて確認するということにしました。

☆実際の調査では

インターネット等では、小学校区ごとに特色がみられました。昔は高級住宅街だったまち、現在の高級住宅街、新興住宅地域などで塾の数や習い事の種類など、まちの変遷が分かります。

そして、実際に歩いてみると、思いがけない子ども専門の本屋を見つけ（居場所になるのか？はありますが）新しい発見があったり、昔ながらの生け花やお茶の教室があり懐かしい雰囲気を味わったりしました。そして、歩くことが楽しく、歩数を伸ばすことができました。

インターネット・SNSに出ていないお稽古事が予想以上にありました。

*こんな新しい習い事があるんだ、この辺りは新興住宅街で塾が多いねなど、まちあるきを楽しみながら踏査ができました。

この結果をマップに落として、使い勝手のよいものにしました。

イマドキは、ここまでできるんだ、ということを知り、PCの前でも楽しい時間が過ごせました。

